


No.	5	
学区	石山学区	
主な相手先	石山寺観光ボランティアガイド	
日時	2019年6月3日（月曜）	
概要	<p>①石山寺周辺で好きな場所、守っていききたい風情・趣のある場所の共有 【石山寺に関するもの】 ○石山寺の国宝建造物 ○多宝塔 ○雅台から見る本堂 ○旧道から望む石山寺本堂 ○源氏の間 ○石山寺の古仏像 ○石山寺の硅灰石：観音さんの住む補陀洛山ズバリの景観 ○硅灰石などの地質 ○伽藍山の自然林、カシの木など ○青鬼祭：朗澄を偲ぶ ○石山寺のお遍路さんの風景 ○石山寺のお土産屋さん</p> <p>【瀬田川や瀬田唐橋に関するもの】 ○瀬田川の流れ ○瀬田川の川辺 ○一番丸の風情：平安の船旅の連想 ○瀬田唐橋 ○唐橋周辺の歴史的景観 ○唐橋近くの雲住寺から見る瀬田夕照</p> <p>【その他の社寺や歴史的資源】 ○建部大社 ○幻住庵 ○保良宮 ○立木観音 ○佐久奈度神社 ○音羽山トレッキング</p> <p>②「石山らしい」と思う伝統的な行事や活動の共有 【石山寺の祭礼や行事などの活動、伝説など】 ○牛玉さんの日（毎月18日）</p>	

○秋月祭

○新宮神社の祭礼で神輿（子供神輿も）の行道が石山寺境内に入ってくる

○青鬼太鼓：地元小学校のクラブ活動としてやっている

○剣道：石山寺が紫式部杯を開催しており、本堂で奉納する

○におい袋：国宝の薫聖教（においのしょうぎょう）にちなんだもの

○石山寺駅からの参道沿いは源氏物語に出てくる植物が植えられて整備されている

○霊仙三蔵の業績の伝承

○空海の伝承

【石山寺以外の社寺の祭礼や行事などの活動、伝説など】

○近津尾神社の子供神輿（5月5日、12月31日）：こぢんまりしている

○幻住庵記：俳句活動、どの団体かは不明

○建部大社の船幸祭

○日本武尊の神話（説話）

○佐久奈度神社の七瀬祓え

○夏越祓え

○藤原秀郷の伝承（龍王宮秀郷社）

○大友皇子の怨霊伝承（御霊神社）

○竜蛇の伝承

【瀬田川に関する料理や活動】

○瀬田のしじみ祭

○しじみ飯

○瀬田のしじみ料理

【その他】

○日本最大の隕鉄落下場所

③地域の活動や歴史的建造物を守るために必要なことやそのアイデア

【情報発信に関する課題】

○唐橋を示すきちんとした標識がない

○旧東海道が通っている事を示す標識の整備が必要

○英語の説明板が必要

【石山寺への参拝や観光に関する現状と課題】

○高齢者が歩きやすいお寺にする必要がある

○高齢者、歩行困難な人がお参りしやすくなるように

○三十三巡礼の旅の高齢者への対策として、手すりや、トイレの充実が必要

○巡礼しやすいお寺として考えていく必要がある

○お参りの途中に座って一服できる所が必要

○境内のトイレが課題である。お客さんを案内しにくい

- 参拝者から一時荷物預かり所が欲しいという要望を聞くことがある
- 山門前のバス停で降りてから、国道を横断する際に信号が無いので危険

【ボランティアガイドの現状と課題】

- ボランティアガイドの後継者育成が課題
- 以前は他地区のボランティアガイドとの連携もあったが、今はない
- 石山寺の後でどこかに行きたいお客さんがいてもボランティアガイドは他地域に行っても案内できないが、連携して案内できるようにした方が良い
- 門前にお客さんが気軽に来られるボランティアガイドの事務所があると良い

【歴史的資源を守り、活性化に繋げるためのアイデア】

- 十二単衣の試着、撮影の発展
- 紫式部、源氏物語の全国スタンプラリーの開催
- 神社、寺院の神仏習合など精神文化の学習会
- 仏教、仏像好きのための坊主カフェ
- 寺マルシェ
- 平安時代の石山寺をVRで再現する
- 琵琶湖～瀬田川の地形を空撮する
- 英語のガイドを行う
- 海外向けPRビデオの制作
- 市で「四箇大寺構想」をつくる
- 瀬田川を利用したアクティビティ（ラフティング以外）

その他

- 石山寺への参拝は、以前はにおの浜から船を使っていた。現在の石山寺駅（昔の名前は蛭谷駅）からの参道になっている道路は狭かった
- 100年前は瀬田川に蛭がいっぱいいたと聞いている。蛭谷という地名が残っている
- 新宮神社、昔は石山寺の本堂の前にあったが、広くなったので移動したと言われる